

でもこれじゃ、内蔵をやられ、ガンになるわな…。
食の話、佐治さんとの食の旅の話などは興味津々で読んだものだ！



書斎は生前のままに保たれている。
意外と小さく、簡素なものだ。時代小説の藤沢周平さんの書斎の簡素さには
おったまげたものだが、ま、茶室が狭いのに精神が似ているのかな？



背後はご覧の通りである。



外には木が沢山あり、ここで思索に耽ったのだろう。しばしば茅ヶ崎海岸にも散策に行ったようである、なんせすぐそこなのだから。



一度もゴルフの話が出て来ないところを見ると、どうも興味がなかったのだろう。家を出て、50、60mも行けばそこは「茅ヶ崎ゴルフ場」である。ここは9ホールのコースで、INとOUTはグリーンを使い分けてやるようである。

ゴルフに関する記述があれば、どなたか教えて欲しいものだ。

最大の罵倒"黙殺"なんだろうか？

「ゴルフは車夫馬丁のたぐいの遊びだ」との行はあるにはあるが……。



300m ほども行けばもうそこは海であり、サーファーや釣り人が点在している。水平線の右の方は江ノ島である。



ここ茅ヶ崎海岸はすでに大正の頃に海水浴場が出来たとある。



変な巻き舌で歌うので好きではないのだが、桑田佳祐のサザンビーチも直ぐそこなのである。海岸名をこう変えてから海水客が増えたとある。



加山雄三、桑田佳祐、萩原聖人、杉本哲太、平尾昌晃、尾崎紀世彦、

徳光正行、ブレッド&バター、片山誠史、小桜舞子、岡田淳一等が茅ヶ崎の出なのだと書かれている。”湘南ボーイ・ガール”ってやつか……。

僕が開高が好きな理由の一つに、彼が大阪生まれで最後まで大阪弁を使っていたことと、彼に容姿言動がそっくりな会社の先輩がいて、船場生まれの彼と大阪弁をしゃべりながらゴルフ等をするのが楽しくて仕方ないからでもある。まるで、開高健さんと喋っているような錯覚に襲われるのである……。

.....

開高一家の末路はあまり良好ではない。1989年に開高が亡くなったあと、94年に長女道子が鉄道自殺、2000年には妻（牧羊子）が死後5日後に発見された。

三人は北鎌倉の円覚寺・松嶺院に眠っている。ここもいづれ訪れよう。

合掌……。



→開高 健をもっと知りたい方はこの下をクリックして下さい。

[COLLECTION 開高健](#)

<終>